

## 最大の目標は3部リーグ昇格 活動再開となる日が待ち遠しい

いつもの年であれば、火、水、土が卓球部の活動日となっており、世田谷キャンパスの体育館3階にある卓球場で練習を行います。このうち火、水は自由参加ですが、土曜は全員参加で決まったメニューをもとにみっちり練習に打ち込みます。「練習メニューは部員全員の意見を反映して決めますが、僕はみんなの意見を聞きすぎてしまい、効果的な練習内容とならなかった日もあったと反省しています。だから新部長の梶原君には、ここは譲れないというところをきちんと持ってやってもらいたい。彼ならできると思います」(吉田君)。

この土曜日の練習には歴代OBもしばしば指導に訪れるそう。卓球部は長い歴史を持ち、縦のつながりが強いのも自慢なのです。頭脳かつテクニカルなプレイスタイルで一目置かれる次期副部長の岩崎光君も「諸先輩方から指導していただけるのももちろん、練習の合間に将来の進路などについてもいろいろと相談に乗っていただけるのが嬉しいです。あと昔の部の雰囲気が聞けるのも興味深いですね」と語ります。

また例年なら8月後半に、秋に行われる関東学生リーグに照

## 新入生勧誘は部の最優先課題。未経験者だって大歓迎です

他の団体と同じく、卓球部も2020年は新入部員の勧誘が思うようにできませんでした。それでも男子は3人が入部して、4年生を含めて17人が在籍。女子部員は4年生2人と、2年生の五十嵐智晴さんの3人のみ。このままだと唯一の女性部員になってしまう五十嵐さんは次のように心境を語ります。「卓球の団体戦は最低3人の選手がいれば出場できますが、4年生が卒業してしまうとそれが叶わず、関東学生リーグに女子は出場できないことになってしまいます。だから女子の新入部員獲得は個人的にも大切な課題。今も部のツイッターで入部を呼びかけていますが、春に新入生が入学したら全力で勧誘活動を行うつもりです」。

ちなみに今の卓球部は経験者ばかりで、前部長の吉田君をはじめ、シングルスで大会で好成績を残す猛者も揃います。



2019年の年末に行われた、関東学生連盟加盟校による合同親睦会の模様

準を合わせた夏合宿を実施。寝食を共にすることで部員たちの結束が一気に強まる大切なイベントです。「当然のことながら、2020年はコロナ禍で中止となりました。ここでぐっとスキルも上がるので、なんとか2021年は実施できたらいいんですが……」(岩崎君)。

なお都市大卓球部は現在、男子が関東学生リーグの5部、女子が4部に所属。「数年前まで男子はずっと4部が定位置だったと聞きます。だから男子はまず5部で優勝し、4部に昇格するのが目標。そしてゆくゆくは男子、女子とも3部を目指したいですね」(梶原君)。



女子の試合が終わった後に皆で記念撮影

だから未経験者の入部は厳しいのかと聞くと、「大歓迎です」と全員が即答。「当部の本来の練習頻度であれば、4年間で相当うまくなります。部の雰囲気も明るいので、初心者でもすぐ馴染めると思いますよ」(梶原君)。「学業との両立に悩む人もいますが、うちの部員たちはみんな両立できています。卓球に興味があったら是非仲間になってもらいたいです」(岩崎君)。「卓球は生涯スポーツ。年齢を重ねてもやれますから、学生時代に一度本気で打ち込むと楽しい老後が待っているかも(笑)」(五十嵐さん)。

部員たちの和気あいあいとした雰囲気とともに、卓球に対する情熱がひしひしと伝わってきた今回の取材。彼らならこのコロナに負けず、伝統の火を守り続けてくれることでしょう。

2019年の関東学生リーグ選手権秋季大会の風景。試合前に円陣を組んで気合いを注入!